

陳 情 文 書 表

(建設局)

受 理 番 号	9 4 2	受 理 年 月 日	令 和 5 年 10 月 25 日
件 名	ラクトスポーツプラザの公共的役割の継続		
要 旨	<p>2021年4月に京都市がラクトスポーツプラザのプールとジムを休止して2年がたち、今年4月からはコミュニティルームを含め全面休止とされていた下で、5月19日に京都市からラクトスポーツプラザの廃止と民間売却の方針が明らかにされた。元は、コロナ禍で利用者が減少し赤字となったことが休止の原因だった。引き続き公共施設として市民の健康や文化に係る活動を支え、市民の暮らしの豊かさに貢献する役割を果たすことはできなかったのだろうか。集える場所が便利な所にあり料金も安価なのは京都市民にとってうれしく必要なことだ、健康づくりの場として気兼ねなく通える公共のスポーツ施設を守ってほしいと声が上がっている。</p> <p>民間への売却で解決しようとするのは、京都市が市民にとって大切な公共施設の公共的役割を軽視するもので、余りにも受け入れ難い思いである。民間会社は、今後6億円の施設改修費を負担すると聞くが、その負担は利用料にダイレクトに跳ね返ることになるのは明らかである。利用者負担が大きくなれば、気軽に使えた市民スポーツや貸室利用の活動が困難になることが予想され、大変不安を感じている。</p> <p>ついては、京都市が言うような、整備した当時の理念である、様々な活動を通じた市民の交流促進という役割を受け継ぐことを目指し、本施設の機能を継続することについて、以下のような公共的役割を継続することを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プールとジムについて、値上げをしないこと。また、障害者割引を継続すること。 2 プールとジムについて、1回利用を可能とすること。 3 コミュニティルームについて、利用料や備品の貸出しの値上げをしないこと。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	まちづくり委員会		